

ふれあい、山口

2015

3

山口県広報誌



特集 1

6次産業化・農商工連携を進めています！

特集 2

山口県農地中間管理機構を利用しませんか？

 山口県

次回発行は5月号です。

商品の開発から販路開拓までの支援の流れ

県の補助制度

県産農林水産物を主原料とし、山口県らしい高品質な商品の開発などに対して補助しています。

補助内容

・新商品開発経費

事業費の1/2以内
(事業費100万円～500万円)

・加工施設などの整備

事業費の1/3以内
(事業費300万円～2千万円)

※県の補助制度のほか、国の補助制度や融資制度の対象となる場合があります。詳しくはお問い合わせください。

県や国の補助制度などを利用して開発された商品を、下記のホームページで順次紹介します。

やまぐち6次産業化・農商工連携
サポートセンター

検索

商品力の向上や販路開拓の支援

開発された新商品を対象に、商品開発の専門家等の派遣による商品力の向上や、首都圏などでの販路開拓を支援しています。



首都圏展示会への出展

1 サポートセンターに相談

・商品のアイデアや販売先など、3～5年先を見据えた計画を描き、サポートセンターへ相談



2 事業計画書の作成

・総合コーディネーターが、相談の内容に応じてサポートセンターに登録している支援プランナーを派遣するなど、新商品の開発に関する事業計画書の作成を支援



3 県の補助金の申請

・申請書、事業計画書などを知事へ提出
・審査会(「やまぐち6次産業化・農商工連携推進協議会※」内に設置)で品質、山口県らしさなどについて審査
・審査の結果、県が認定した計画に対し補助金を交付

※新商品の開発や販路開拓の取組を一体的に推進するための協議会(県や関係機関など35団体で構成)

4 商品の完成・販売

・事業計画書に基づき、商品を開発、販売



支援

お問い合わせ先

やまぐち6次産業化・農商工連携サポートセンター(公益財団法人やまぐち農林振興公社内)
☎0833(9)24(8)100
県企画流通課 ☎0833(9)33(3)556
県経営金融課 ☎0833(9)33(3)180

Q2 今後の抱負は？

まずは直売店で販売し、ネット販売などにも販路を拡大していきたいと思っております。この取組をきっかけに、山口県の農業が活性化し、農家の所得が向上していくよう頑張ります。

Q1 サポートセンターを利用して良かった点は？

県産の「たまねぎ」をベースとした県産ゆず果汁入りドレッシングの開発を目指していたところ、専門家の的確なアドバイスにより、県産の山口あぶらトマト、安岡ネギ、美東「ボウ」を加えた新たな商品も開発することができました。また、県の補助制度も利用することができ、開発がスムーズになりました。



上杉 達也さん
全国農業協同組合連合会
山口県本部

利用者に聞きました



職員に聞きました



吉成 卓実さん
やまぐち6次産業化・農商工連携サポートセンター

Q1 どんな支援が受けられるの？

ご相談内容に応じて、支援プランナー(民間)コンサルタントなどの専門家(無料)を派遣するほか、セミナーや交流会、研修会を開催するなど、商品開発から販路開拓までの総合的な支援を行っています。

Q2 これから利用する方へ

制度に関するご質問から具体的な計画の実現まで、幅広いご相談に応じていきます。お気軽にお問い合わせください。
また、次のとおり、開発商品の展示や事業者間で情報交換を行う交流会を開催します。6次産業化や農商工連携に関心のある方は、ぜひご来場ください。

やまぐち6次産業化・農商工連携 ネットワーク促進交流会

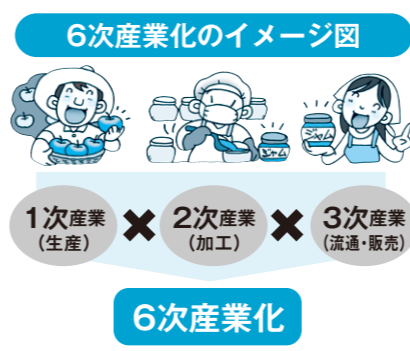
◆日時 3月17日(火)
13時～16時30分[予定]
◆場所 ホテルかめ福(山口市)
※詳しくは、やまぐち6次産業化・農商工連携サポートセンターへお問い合わせください。

6次産業化・農商工連携を進めています！

本県の豊かな風土を育み、就業の機会などを提供してきた農山漁村は、農林水産物の価格の低迷等による所得の減少、高齢化や過疎化の進行などにより、その活力が低下しつつあります。こうした中、県では、県産農林水産物を活かした魅力ある商品の開発や販路開拓を総合的に支援するため、昨年7月17日に「やまぐち6次産業化・農商工連携サポートセンター」を設置し、6次産業化や農商工連携を積極的に進めています。

6次産業化とは

農林漁業者が生産(1次産業・加工(2次産業)・流通や販売(3次産業)を一体的に展開することで、新たな付加価値を生み出し、所得の向上や雇用の創出を図ることにより農山漁村地域の活性化を目指す取組です。



例:生産した果実を自らジャムに加工し販売する

農商工連携とは

中小企業者と農林漁業者の経営の向上・改善を図るため、両者が持つ設備・技術・知識などの経営資源を互いに持ち寄り、新商品や新サービスの開発、生産などを行い、需要の開拓を行う取組です。



例:低利用の魚を加工業者の技術を用いて付加価値の高い瓶詰商品として製造・販売する

やまぐち6次産業化・農商工連携サポートセンター

6次産業化や農商工連携を目指す農林漁業者や中小企業者のさまざまな課題に対応する総合支援窓口です。商品の開発から販路開拓までを総合的に支援する総合コーディネーターを配置し、電話や面談による相談を受け付けています。



やまぐち6次産業化・農商工連携サポートセンター



まずは、
ご相談ください！



山口県農地中間管理機構
農地中間管理事業部長
中尾 祐一さん

Q1 農地を貸したい人には
どんなメリットがあるの？

農地の利用方法などに関する希望を踏まえ、条件に合った借受希望者を探します。また、借り手との間に公的機関の機構が入ることで安心して土地を貸すことができます。

このほか一定の条件を満たす場合には、協力が支払われますよ。

Q2 農地を借りたい人には
どんなメリットがあるの？

自ら農地を探す手間が省けるほか、所有者との契約や賃料などの支払手続きは機構が行うため、大幅な事務軽減が図れます。また、機構を通すことで、まとまりのある形で農地を借りることが出来ます。

Q3 最後に一言

貸したい人、借りたい人どちらにせよ、でもメリットのある山口県農地中間管理機構「さくま」をぜひ活用してください。

山口県農地中間管理機構を利用しませんか？



農業従事者の減少や高齢化、それに伴う耕作放棄地の拡大などが全国的に進んでいます。特集2では、農業の持続的な発展に向けて意欲ある担い手の皆さんに農地の集積・集約化を図る「山口県農地中間管理機構」についてご紹介します。

農地の集積・集約化の推進

農業の生産性を高め、成長産業にするためには、農地の有効利用や経営の効率化を図ることが必要です。

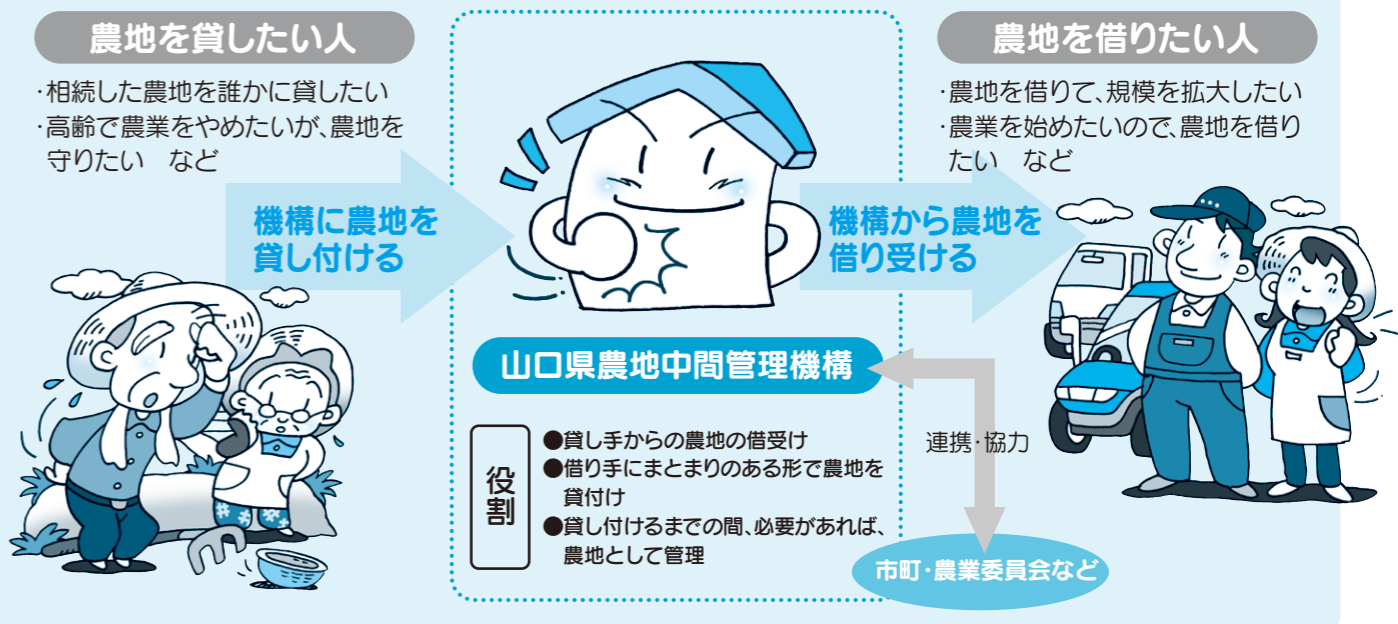
このため、県では、昨年3月、公益財団法人やまぐち農林振興公社を「山口県農地中間管理機構」に指定し、意欲ある担い手への農地の集積・集約化を強力に進めています。

昨年3月27日の業務開始以降、66件・計466ヘクタールの貸付けが成立しています（平成27年1月末現在）。

山口県農地中間管理機構とは

「農地を貸したい人」から借り受けた農地を、経営規模の拡大等を目指す担い手などにまとまった形で貸し付ける組織です。

農地の集積・集約化の流れ



農地を貸すには？ 借りるには？

1 貸付希望者の情報登録

●市町の担当窓口で登録申請書を提出します。申請書には、利用方法や賃料などの希望を記載します。

1 借受希望者の情報登録

●市町の担当窓口で借受希望申込書を提出します。登録された情報（氏名や希望地域、面積など）は、機構のホームページで公表します。

2 貸したい人と借りたい人のマッチング

●機構は、登録された情報に基づき、市町など連携しながら、「農地を貸したい人」と「農地を借りたい人」を結び付けます。

3 貸付けの契約

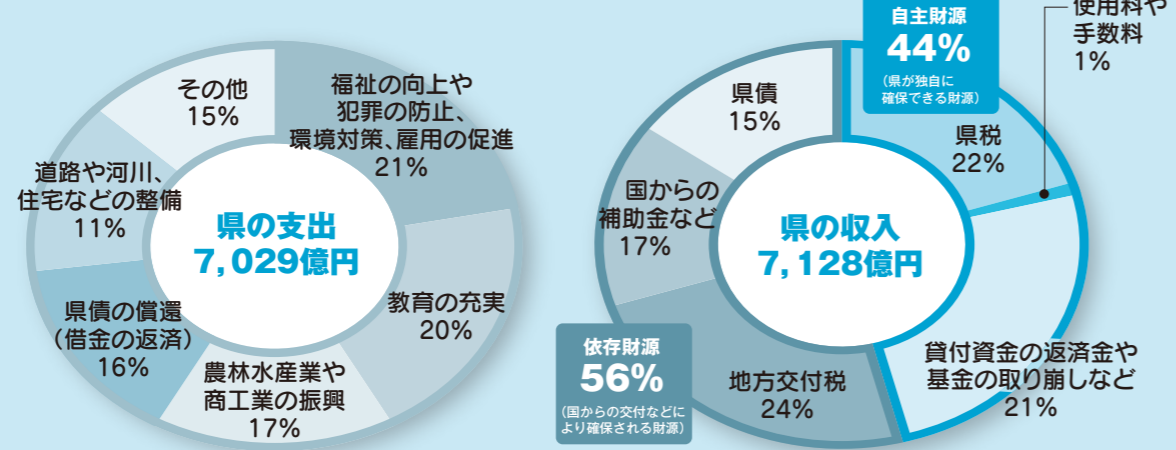
●貸付希望者は、機構と貸付けの契約を締結します。
※貸付期間は、原則10年以上です。なお、貸付期間が満了すれば、農地は返還されます。

3 借受けの契約

●借受希望者は、機構と借受けの契約を締結します。

お問い合わせ先 ●山口県農地中間管理機構(公益財団法人やまぐち農林振興公社) ☎083(924)0067 ●県農業振興課 ☎083(933)3375 ●市町の農業担当課 [山口県農地中間管理機構](#) 検索

お問い合わせ先 ☎083(933)33920



平成25年度決算の概要(一般会計)

| 区分 | 25年度 | 24年度 | 対前年度 |
|--------------------|-------|-------|------|
| 収入額 (A) | 7,128 | 6,853 | 275 |
| 支出額 (B) | 7,029 | 6,768 | 261 |
| 収入支出差引 (A)-(B)=(C) | 99 | 85 | 14 |
| 翌年度繰越財源 (D) | 53 | 51 | 2 |
| 実質収支額 (C)-(D) | 46 | 34 | 12 |

収入の増加理由

公共事業関係費に充てるための国からの補助金が増加したほか、企業収益の改善等に伴い県税が増加したことなどにより、収入は増加しました。

支出の増加理由

国の経済対策に対応した公共事業関係費が増加したことや、公益財団法人やまぐち農林振興公社への貸付金が増加したことなどにより、支出は増加しました。

県の一般会計の決算額は、収入、支出ともに2年ぶりに前年度を上回りました。また、地方公共団体が赤字か赤字かを示す実質収支額は46億円で、引き続き赤字となりました。

山口県の平成25年度決算

※はお問い合わせ先、はお申し込み先を表しています。
 ※催しの日時や会場などは変更される場合があります。
 ※詳細な情報までは記載できませんので、詳しくはお問い合わせください。
 ※市町によって配布日が異なるため、一部既に終わった催しなどがある場合がありますので、ご容赦ください。

メールマガジン「山口きらめーる」
 山口の魅力やお得な情報が満載！

タイムリーな情報は
 県広報広聴課 Facebook で！

おいしい「やまぐちブランド」を食べちゃろう！「ゆめほっぺ」
 県のオリジナルみかんの「ゆめほっぺ」。名前には、このみかんに「夢」を託すとともに、「ほっぺ」が落ちそうなほどおいしいという意味が込められています。
 甘くプチプチと弾けるような食感が魅力ですよ。



お知らせ

山口県がん総合相談窓口をご利用ください

がんに対する不安や心配、治療・療養への不安、就労の問題、セカンドオピニオン外来の紹介など、がんに関するさまざまな相談に保健師が応じます。

- ◆山口県がん総合相談窓口
☎083(902)6220
- ◆受付日時 月～金曜日
9時～12時、13時～16時
(祝日・年末年始を除く)
- ※面接相談をご希望の方は、事前にご連絡ください。

県地域医療推進室 ☎083(933)2961

農業は正しく安全に使いましょ

農業を散布する際は、事前に周辺に知らせ、飛散しないよう風向きなどに注意しましょう。
 ※農薬残留基準の見直しにより、お手元の農薬は使用方法が変更されている可能性があります。製造者から提供される最新の情報に十分注意しましょう。
 県農業振興課 ☎083(933)3366

募集

消防団員を募集しています

消防団には、会社員や自営業者、主婦などさまざまな方が参加しています。特に、最近では女性の方も多く活躍しています。皆さんも地域防災力の充実強化のため、消防団に入団し、地域に貢献してみませんか。

め、消防団に入団し、地域に貢献してみませんか。

※詳しくはお問い合わせください。
 各市町の消防団担当課
 各消防本部(局)の消防団担当課
 県防災危機管理課 ☎083(933)2360

青年海外協力隊・シニア海外ボランティアを募集します

- ◆応募資格(日本国籍を持つ方)
 青年:満20歳から満39歳
 シニア:満40歳から満69歳
 ※年齢は平成27年5月11日現在
- ◆派遣期間 原則2年
- ◆募集期間 4月1日～5月11日
- ◆募集説明会日程・会場
 ◇4月5日
 シニア10時30分～ 青年14時～
 山口県総合保健会館 研修室2(山口市)
 ◇4月8日 青年・シニア18時30分～
 海峡メッセ下関 804会議室(下関市)
 ◇4月22日 青年・シニア18時30分～
 岩国市役所 41、42会議室(岩国市)
 ※詳しくはお問い合わせください。
 県国際課 ☎083(933)2347

「ねんりんピックおいでませ!山口2015」大会ボランティアを募集しています

- ◆応募資格
 県内に在住、在勤または在学し、平成12年4月1日以前に生まれた方
- ◆活動期間 10月16日～20日
 ※1日のみの参加も可能です。
- ◆活動内容
 総合開・閉会式の運営補助、空港等での選手団の出迎え・見送り など
- ◆応募期限 6月30日(必着)
 ※詳しくはお問い合わせください。
 県ねんりんピック推進室 ☎083(933)4805

食の安心モニターを募集します

日常の買い物を通じて、食品表示などをモニタリングしていただく「食の安心モニター」を募集します。

- ◆応募資格
 県内に在住の18歳以上の方
 ※年齢は平成27年4月16日現在
- ◆任期 委嘱日～平成28年3月31日
- ◆謝礼 年額1万円以内
- ◆募集期間
 3月23日～4月16日(必着)
 ※応募方法など、詳しくはお問い合わせください。
 県生活衛生課 ☎083(933)2974
 各市町の消費者行政担当課

やまぐち就農支援塾「作目基礎研修」の受講生を募集します

日曜日に、農作物の栽培管理や牛の飼養管理など、農業の基礎技術を学びます。

- ◆受講期間
 5月～翌年1月(年14回程度)
- ◆研修場所 県立農業大学校(防府市)
- ◆募集期間 3月9日～4月15日
 ※詳しくはお問い合わせください。
 県立農業大学校 ☎0835(38)0510

道路愛護ボランティアを募集しています

県道や県が管理している国道での、歩道の清掃や花壇の手入れなどを行っているボランティア(個人やグループ)を募集しています。
 ※詳しくはお問い合わせください。
 各土木建築事務所
 県道路整備課 ☎083(933)3680

催し

| イベント | 日時・会場 | 内容 | お問い合わせ先 |
|----------------------|--------------------------------------|--|------------------------------|
| やまぐちフラワーランドスプリングフェスタ | 3月20日～22日 9時～17時 やまぐちフラワーランド(柳井市) | ランの展示・販売、音楽イベント、寄せ植え体験、移動ミニ動物園 など ※寄せ植え体験と移動ミニ動物園は22日のみ | やまぐちフラワーランド ☎0820(24)1187 |
| シンフォニア・フェスタ | 3月28日 10時～15時 シンフォニア岩国(岩国市) | 市民楽団とプロ奏者によるコンサート、アートや楽器の体験コーナー、映画上映・紙芝居上演 など | シンフォニア岩国 ☎0827(29)1600 |

県立施設ガイド

※◎は18歳以下の方および高等学校、中等教育学校、特別支援学校に在籍の方などは無料です。

| 展覧会 | 施設 | 期間 | 料金・お問い合わせ先 |
|---|------------------|-------------|---|
| 超絶技巧! 明治工芸の粋 これぞ明治のクールジャパン!! 《七宝》並河靖之「桜燦図平皿」 清水三年坂美術館所蔵 | 県立美術館(山口市) | 2月21日～4月12日 | 囲一般 1,200円(1,000円)、 70歳以上・学生1,000円(800円)◎ ※()内は前売りおよび20名以上の団体料金です。 囲 毎週月曜日(3月2日、4月6日は開館) 囲 県立美術館 ☎083(925)7788 |
| 2015年 NHK大河ドラマ特別展 「花燃ゆ」山口展 吉田松陰自賛肖像(吉田家本)(部分) 山口県立美術館所蔵 | 県立萩美術館・浦上記念館(萩市) | 4月18日～5月24日 | 囲一般 1,200円(1,000円)、 70歳以上・学生1,000円(800円)◎ ※()内は前売りおよび20名以上の団体料金です。 囲 毎週月曜日(4月27日と5月4日は開館) 囲 県社会教育・文化財課 ☎083(933)4650 県立萩美術館・浦上記念館 ☎0838(24)2400 |

クイズ

発見やまぐち プレゼント

今回の特集1で紹介した、やまぐち
 ○○産業化・農工商連携サポートセンター。○○に入るのは、次の3つのうちどれでしょう。
 ① 2次 ② 4次 ③ 6次

正解者の中から抽選で下記プレゼントを差し上げます。
 ・やまぐちブランド「ゆめほっぺ」… 5人
 ・「超絶技巧! 明治工芸の粋 これぞ明治のクールジャパン!!」ペア招待券… 5組
 ・2015年NHK大河ドラマ特別展「花燃ゆ」山口展ペア招待券… 10組

応募方法: クイズの答え、いずれか希望の商品名、住所、氏名、年齢、電話番号、本誌の感想を記入し、はがき、ファクスまたはEメールでご応募ください。なお、応募していただいた個人情報は、商品の発送とアンケートの集計以外には使用しません。
 送り先: 〒753-8501 (住所不要)
 山口県広報広聴課
 「発見やまぐち3月号」係
 [FAX] 083(933)2598
 [メール] kohoshi@pref.yamaguchi.lg.jp

応募締切: 3月25日(必着)
 当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。
 1月号の正解は「◎ 松陰先生の妹 文ちゃん」でした。

県政だより

「水素先進県」の実現を目指しています

県内では、全国トップクラスの大量かつ高純度の水素が生成されています。県では、この強みを活かし、水素供給インフラの整備や、水素関連製品の研究開発・事業化を促進し、水素利活用による地域づくりを進めることにより、「水素先進県」の実現を目指しています。



水素エネルギーシンポジウムの様子

その取組の一つとして、県民の皆さんに水素についての理解を深めていただくため「水素エネルギーシンポジウム」を、2月9日山口市で開催しました。
 シンポジウムでは、水素社会の実現に関する講演や、燃料電池自動車や水素供給インフラに係る取組などを紹介しました。

- 本誌へのご意見、ご感想をお寄せください。県政へのご意見、ご要望などもお待ちしております。
 - ご意見などをお寄せいただいた方の個人情報は、山口県が責任を持って管理します。
- 県ホームページ <http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/>
 県携帯サイト <http://mobile.pref.yamaguchi.lg.jp/>



県人口・世帯数 (平成27年1月1日現在)
 人口/1,406,520人(対前月比1,161人減) 男/663,929人・女/742,591人 世帯数/601,897世帯

県政ワンショット

12月25日

ベトナム・ビンズン省との 友好・協力に関する覚書に署名



山口県とベトナム・ビンズン省との友好・協力に関する覚書に、村岡知事とビンズン省のラー・タン・クン人民委員会委員長が署名しました。

これを契機に相互理解を深め、経済や教育、文化など、さまざまな分野で交流を進めていきます。

1月24日

県産鶏肉の魅力を知事がPR



長門市内の量販店で
行われた県産鶏肉の
PRイベントで、村岡
知事は、長門市で発生
した鳥インフルエンザ
の終息を報告する
とともに、やまぐちブ

ランドの「長州黒かしわ」をはじめとする県産鶏肉や鶏卵の消費を呼び掛けました。

1月11日

「花燃ゆ」大河ドラマ館がオープン



杉家の台所セット(萩・ドラマ館内)



英雲荘のジオラマ(防府・ドラマ館内)

大河ドラマの世界観を体験できる「花燃ゆ」大河ドラマ館が、萩市と防府市にオープンしました。オープニングセレモニーに出席した村岡知事は、「大河ドラマ館を多くの皆さんにご覧いただき、ここを拠点に、県内を広く周遊していただきたい」と呼び掛けました。

1月29日

全県周遊型観光アプリと パスポートブックの利用開始



観光アプリ



パスポートブック

◆観光アプリ

観光情報・観光ルートなどを入手できます。

◆パスポートブック
対象施設での割引などの特典があります。

県観光振興課 ☎083(933)3170 ishin150.jp